

外国人児童生徒等の支援について

～いきいきサポート支援事業～

本県の公立小・中学校および義務教育学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒数は、令和6年5月1日現在、1,696名(令和5年5月1日現在では、1,615名)と、年々増加傾向にあり、母語支援のニーズが高まっています。そのニーズに応えるため、いきいきサポート支援事業では、申請のあった学校に母語が話せる支援員(中国語1名、タガログ語1名、スペイン語2名、ベトナム語1名)を派遣し、次のような教育支援を行っています。

(支援の内容)

○学習の支援
○児童生徒の相談への対応
○懇談の通訳、保護者の支援
○保護者宛文書、通信、通知表などの翻訳

(支援員からの報告)

・休憩時間に、「会えてとても嬉しいです。もっと来てほしい」と楽しく話をしてくれました。
(派遣を受けた学校からの声)
・支援員と日本語指導担当や教員間で、小学校卒業までに日本語で日常会話ができるようになるという目標を共有できました。

問合せ先 幼小中教育課 ☎077-528-4665

集え！科学の仲間たち！

令和7年度科学の甲子園ジュニア開催決定！

科学の甲子園ジュニアとは？
科学の甲子園ジュニアとは、中学1年生、2年生で構成された3人1チームで筆記競技・実技競技に協力して取り組み、科学の楽しさ・面白さを実感し、科学的な知識・技能や思考力・判断力・表現力を競う大会です。
今年度は、8月22日(木)に滋賀県大会を行い、全国大会へ出場するチームを決定しました。

令和6年度 科学の甲子園ジュニア滋賀県大会結果

優勝 チーム

滋賀県立守山中学校 Re:るるん's

準優勝 チーム

高島市立湖西中学校 チームKosei

6人1チームの滋賀県代表チームとして、第12回科学の甲子園ジュニア全国大会に出場！
令和6年12月13日～15日にアクリエひめじにて開催されました。

右の二次元コードから、過去の大会の様子や全国大会の過去問などがご覧になれます！
滋賀県では、これからも科学の大好きな子どもたちの育成に取り組んでいきます。

問合せ先 幼小中教育課 ☎ 077-528-4662

幼児教育

おもしろいが止まらない♡
～感じるこころと脳科学～

生き物が大好きなたっくんは、春になると「この川には、オタマジャクシがいるから探しに行こう」とバケツと網を持って出掛けます。夏には神社に行き、サワガニ取り、石をめくって下を覗き込み、「いたー!!」と手づかみで捕まえる。秋になると、原っぱに行ってバッタ・コオロギを追いかける。
頭の中は、「捕まえない!!」という気持ちでいっぱい。

生き物への興味が止まらない!!
見る・触るを感じるこころ

にかちゃん、道ばたで穴を見つけて、そっと覗き込み「入ってみようかな」と好奇心でワクワクします。
ヘリコプターの音が聞こえてくると空を見上げ、ピョンピョン飛んで、「高いなー」「飛びたいなー」と目をキラキラさせます。

見る・聴くを感じるこころ

散歩中にたんぽぽの花を見つけたゆうちゃんは、「ママにあげる」と摘み、「いい匂い」と顔に近づける。
花壇に咲いている花を摘んで帰って来て、花の名前が思い出せず、「せん〜こう?なんだった?」「うーん せんにちこう?」「そうそう せんにちこう」「クリスマスリースにかざろうね」

見る・触る・匂うを感じるこころ
そして言葉に繋がる

とうくんが「今日の味噌汁の麩の味が薄いぞ!」と、つぶやいた。「やっぱりわかるんだ」実は、麩を入れるタイミングが少し遅くて味が染みていなかった。「舌が味を覚えているんだー」

見る・匂う・味わうを感じるこころ

こんな風にこころとからだを連動させて動く
→ 子どもの弾むこころ

脳の中で一番に発達するのが脳幹(別名:は虫類の脳)だと言われています。乳幼児期の子もたちが感性豊かに感じ、行動する脳です。
脳幹は生命を維持する脳「捕まえない!表現したい」という情動(意欲)の中核です。五感を使ってたくさんの体験をし、感じることで脳は発達し、その経験が子どもたちの育ちを豊かなものにします。

問合せ先 子育て支援課 ☎077-528-3557

シリーズ
人権教育

「出会って分かったこと」

◆過去のシリーズ人権教育は、こちらをご覧ください。

問合せ先 人権教育課 ☎077-528-4592

昨年、息子が、「白杖はくじょうつて知ってる?」と聞いてきたことがありました。学校の授業で習ったそうで、「目の自由な人が歩く際に、使う杖のことだね。」と返したところ、学校では、アイマスクをした友だちに「何かお手伝いできることはありませんか?」と声をかけ、相手の半歩前に立ち、肘の少し上をもってもらい、歩く練習をしたと話してくれました。

今年度、私の職場が変わり、電車通勤になると、実際に白杖をもち、移動されている方をよく見かけるようになりました。

ある時、駅前で白杖をもった方が、動かずに立ち止まっておられ、首をかしげ表情が戸惑っておられるようにも見えました。今までの私なら、「たまたま止まっているだけかもしれない。」「必要なら相手が声をかけるだろう。」と自分が声をかけない理由を探して、通り過ぎていたと思います。以前の息子とのやりとりを思い出し、「どうか、されましたか。何かお手伝いできることはありませんか?」と声をかけてみました。すると、「友人との待ち合わせをしている店を探しているが、初めて来たのでどの店が待ち合わせの店か分からない。」とのことでした。店までは100mほどの短い距離でしたが、いつもよりゆっくり歩くことや段差の少ないルートを選ぶことを意識して歩きました。無事に店へ到着した際に、その方から「助かりました。」とお礼の言葉をいただき、私は緊張しましたが声をかけて良かったと思いました。

まだ友人が来られてなかったようで、少しお話をさせていたいただきました。案内した道中を振り返り、「段差があるとつまずきそうで、街中がバリアフリーだということです。」と話したところ、「車道と歩道の境目に段差がなく、気づかずに車道に出て危ない思いをしたこともあります。」と話されました。また、「新しい場所に出かける時は、誰かが一緒にないと不安ですか?」と質問すると、「同行者がいれば安心ですが、一人の時でも、音や空気の流れなどを感じ、たいいていの場所を出かけていきます。」とおっしゃいました。

私は、誰にとっても段差がない方が良く考えていました。また、白杖をもつ方は誰かの助けがないと外へ出かけられないのではないのかとも思っていました。今回、白杖をもつ方と出会ったことで自分の思い込みや先入観をもっていたことに気づくことができました。

息子から声のかけ方や歩き方を教えてもらっていたことで、少し勇気を出して声をかけられたこと、また、白杖をもつ方から聞いた話を、息子や家族に話したいと思いました。

入学金・授業料・学費・下宿代など、教育に関する資金に

JA教育ローン

キャンペーン 実施中!

募集期間 令和6年10月1日必～令和7年4月30日水

農業者以外の方もご利用いただけます。
「JAとのお取引はこれから」というお客さまも安心してご相談ください!
※適用金利には要件があります。詳しくはホームページでご確認ください。

JA教育ローンならインターネットで簡単審査!

ネットからJA教育ローンの事前審査のお申し込みをご希望される方は「JAネットローン」で検索! JAネットローン 検索

※店頭にて説明書をご用意しております。※店頭にて返済額の試算を承っております。
くわしくは、お近くのJA窓口にお気軽にお問い合わせください。

JAバンク 滋賀 JAバンク 滋賀 検索

カード型教育ローンもあります! 詳しくはホームページで!

子ども版教育しが を発行しています!

子ども版教育しが

令和6年1月から小学校上学年(4～6年)向けの情報誌を発行しております。1号、2号については県内の教育施設を紹介。3号、4号については、小学生記者から応募いただいた小学校の取組を紹介しています。まもなく発行予定の4号は、紙による発行ですが、HPにも掲載する予定です。ぜひ各校の取組をご覧ください。左上の二次元コードからバックナンバーもご覧になれます。

また随時、子ども記者を募集しています。各校のすてきな取組をぜひ紹介してください。下記二次元コードよりご応募お待ちしております。

子ども記者募集はこちら→

問合せ先 教育総務課 ☎ 077-528-4512

3